

災害救助犬じゃがいもが里帰り

災害救助犬じゃがいもが、11月10日に里帰り。いたて村の道の駅までい館で飼い主と再会し、来館者と交流しました。じゃがいもは雑種のオスで震災発生直後の平成23年6月に飯館村で生まれました。避難に伴い岐阜県岐阜市のNPO法人「日本動物介護センター」に預けられ、約5年間の訓練と11回の認定試験チャレンジを経て、災害救助犬になりました。能登半島地震の現場にも駆けつけた活躍の様子を紹介する展示も行われました。



前乗地区のモミジが鮮やかに紅葉

佐須行政区前乗地区の火の見櫓の近くに、大きなモミジの木があります。近くに住む菅野和彦さん(佐須)から、見頃を迎えて非常に美しいと情報をいただき、11月14日にお邪魔しました。モミジは、火の見櫓と同じ位の高さまで大きく枝を広げ、見事に色づいていました。菅野さんによると、子どもの頃にはすでにこの地にあったそう。「その年によって色づき方に変化がありますが、今年も本当にきれいです」。タイムリーなお知らせをありがとうございました。



「ふらっと」綿津見神社で光のイベント

11月15日、綿津見神社で一夜限りの光のイベントが行われました。主催は、村民有志のグループ「ふらっと」です。当日は、風もなく穏やかな月夜。多くの人が神社を訪れ、キャンドルが灯された光の参道を散策しました。また、ライトアップで、モミジのグラデーションが光の中に浮かび上がり、その美しさに、見上げた人が感嘆の声を漏らしていました。「予想以上に多くの方に来ていただきました」と、代表の大内亮さん(八木沢・芦原)。「村にはまだまだ魅力的なスポットがあると思っています。みんなで楽しめる、そして観光にもつながる場所をつくっていかたいですね」と話していました。



スープやホットドリンクの振る舞いにもほっこり。



神社が用意したイベント限定の御朱印も大好評。



飯樋町行政区が防災訓練を実施

11月10日、飯樋町行政区が、防災訓練を実施しました。当日は、朝9時にサイレンが鳴り、消防団が区内を回って訓練をお知らせ。それに合わせて住民が飯館村地域防災センターに集合しました。訓練には、地区の消防団を合わせて45人が参加しました。

訓練は、消火器を使った消火訓練や、火災時の煙を擬似体験する「煙体験ハウス」での訓練、AEDの使用訓練など実践的な内容で進められ、最後に非常食の試食を行いました。訓練に参加した住民からは、「有意義な体験になった」「毎年実施してほしい」という声が上がっていました。



この日飯館村に里帰りをしてきた災害救助犬じゃがいもが来場。参加者と交流しました。



飯館産品大人気!「JAまつり」

10月26・27日、南相馬市の「ジャスモール南相馬」で『JAまつり』が行われ、村も出店して農産物や加工食品を販売しました。

飯館村のブースに並んだのは、飯館産黒毛和牛A5ランクの「もも・バラ焼肉セット」、特産のもち米「あぶくもち」を使ったおこわ、かぼちゃ饅頭、ジャンボしいたけなど、飯館ならではの品々。開場からたくさんの方にお買い求めをいただき、予想以上のスピードで売り切れ、関係者を喜ばせました。



草野行政区クリーンアップ作戦

10月20日、草野行政区が、『クリーンアップ作戦』を実施しました。区内の景観をきれいにしようという、住民の皆さんによる美化活動で、継続的に行なっているものです。

この日は33人が参加して、県道脇の草刈りや花壇の整備を中心に活動しました。また、旧草野小学校入口の法面や、交流センター「ふれ愛館」周辺も、刈り払い機で草を刈ったり手で雑草を抜いたりして、きれいにさせていただきました。

